

熊本県立熊本農業高等学校創立120周年記念祝賀会



写真は、120周年の様子

令和七年四月二十五日(金)、創立百三十周年に向けた第一回準備委員会が開催されました。今後は、趣意書や規約整備、発起人名簿等の作成を行っていく予定となっております。

**創立百三十周年に向け
動き始めました!!!**

南園

同窓会報

第77号

発行所

〒861-4105
熊本市南区元三町5丁目1番1号
熊本県立熊本農業高等学校

南園会

TEL (096) 357-8824
FAX (096) 357-8824

敬天愛人
(編輯)
徳恵力行
剛健進取
俊素礼謙
自励協同

合資会社 **BC櫛山**
Kushiyama
熊本市中央区本町4丁目3-22
TEL 354-3515

創立百三十周年を目前に控えて

南園会副会長 紫垣 勇治

〔昭和四十七年(六十九回) 農業科卒〕

母校熊本農業高校は、一八九九年(明治三十二年)創立され、初代校長河村九洲先生の「その手足を低き地に働かし、心を高き天に置けよ」の建学の精神のもと、幾多の変遷を乗り越え現在に至っています。また、農業高校として歴史・実績・卒業生総数に於いても全国有数の伝統校として知られています。

私は、職員として創立百周年、同窓会員として創立百二十周年事業に携わる機会に恵まれ、母校並びに同窓会員の意識の高さを感じることが出来たことを記憶しています。しかし近年では同窓会組織の柱である地域及び職域等の弱体化が目立つ傾向にあることが挙げられます。令和十年十一月に予定されている創立百三十周年事業を成功に導くためにも各組織の強化を図り再開されることを切に願っています。現在南園会本部では、創立百三十周年に向けた組織図の作成並びに各部会長の選任がなされ各部門でスタートを始めているところです。最後に同窓の皆様方には、御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

ご挨拶



南園会会長 小山 勲
【昭和44年(66回)畜産科卒】

末松直洋氏が宇城市長選挙に挑戦され見事に当選されました。心からお祝い申し上げますと共に今後の活躍についてご期待申し上げます。心からお祝い申し上げます。さらに、南園議員連盟の有働辰喜氏が山鹿市議会議員に、また境野隆文氏が嘉島町議会議員に二月に就任されました。このことは同窓生として南園会の名声を高めて戴いたものと深く敬意を表します。

さて、今年度の南園会は例年どおり母校教育活動の支援や会員相互の親睦事業の推進等を中心に事業を推進して参ります。特に熊本農業高校創立百三十周年記念事業を令和十年に控えて参ります。このため四月二十五日に第一回準備委員会を開き、実行委員長及び式典部会長等八名を選出すると共に事業の推進を図ってまいります。これから会員の皆様方には南園会名簿の整備や記念事業募金へのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

最後に母校並びに南園会の更なる隆盛、会員の皆様のご健勝を心祈念し挨拶とします。

着任のご挨拶



熊本県立
熊本農業高等学校長
米村 祐輔

本校同窓会(南園会)の皆様には、平素から本校の教育活動にご理解とご協力を賜り心から感謝申し上げます。令和七年度の定期異動で第三十五代校長として着任した米村祐輔と申します。

歴史と伝統ある本校の舵取りを任せましたことに、責任の重さを実感しつつも、その一端を担える喜びを感じております。本校は、創立百二十七年という

南園会会長に就任して丸二年となります。会員の皆様には、ご清祥のこととお喜び申し上げます。南園会として、新年から明るい話題が続いております。

山鹿市鹿央町の前田達希君はスイカ及びメロン栽培を行っています。本年一月、令和六年度熊本県農業コンクール大会において、新人王部門で秀賞に輝き、併せて名譽ある農林水産大臣賞を受賞されました。また、二月には熊本県議会前議員の

長きにわたり、多くの先輩方が築き上げてこられた教育の精神と実践を受け継いでまいりました。その礎には、創立当初に掲げられた校訓「敬天愛人と建学の精神」其手足を低き地に働かし、心を高き天に置けよがあります。この言葉には、教育の原点ともいえる教えが込められています。現代社会においても、この理念は色褪せることなく、むしろ新たな価値を帯びて私たちに問いかけてきます。今、私たちが直面している気候変動や食料問題、地域の過疎化といった課題は、地に足をつけた知識と技術、そして高い倫理観と理想によってこそ解決の糸口が見えてくるのではないのでしょうか。こうした時代の要請を受けて、

本校では今年度から新たな教育スローガンとして「農業の魅力を探究し、持続可能な社会を創造する」を掲げました。農業は単なる生産活動にとどまらず、環境や福祉、エネルギーなど多くの分野と関わりを持つ、未来の社会づくりの中心的な存在です。生徒たちには、農業教育を通して多角的に物事を捉え、主体的な態度で、地域社会や世界とつながる力を身につけて、持続可能な社会の担い手になってほしいと願っています。これからも、校訓、建学の精神を礎に、地域に開かれ、世界に目を向けた教育を実践してまいります。今後とも、南園会の皆様には変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2024年度
熊本県農業
コンクール大会

熊本県農業コンクール大会は、県と農業団体、熊本日日新聞社などの12の団体が主催している表彰事業です。農業経営・技術の改善に積極的に取り組むとともに、くまもと農業の振興・発展及び地域の活性化に貢献している優秀な農業者、法人、組織を表彰しています。

2024年度は南園の同窓生4名が受賞されました。

■新人王部門 〈秀 賞〉 前田 達希(平成26年農業科卒)……山鹿市
■経営体部門 〈優良賞〉 御舩 一真(平成18年園芸果樹卒)……宇城市
■経営体部門 〈優良賞〉 木下 一(平成10年園芸果樹卒)……上天草市
■地域農力部門 〈優良賞〉 イノP 代表 宮川将人(平成9年園芸果樹卒)……宇城市

着任の挨拶

副校長
岩下 猛

令和七年度の定期異動で芦北高校より副校長として着任いたしました岩下猛と申します。

退任の挨拶

前校長
田畑 淳一

南園会の皆様、三十五代校長の田畑です。令和四年四月からの三年間のご支援とご厚情に對しこの場を借りて感謝申し上げます。

南園会の總會・各支部会等で会員の皆様との交流で多くの意見や助言をいただき、本校並

退任の挨拶

前副校長
水村健一郎

令和六年四月から、副校長として、また通算六年間(三回の勤務)、大変御世話になりました。南園会の皆様には、御支援並びに御協力頂き、心より感謝申し上げます。

す。日頃より南園会の皆様には本校へのご支援並びにご協力を賜り心より感謝申し上げます。

三年ぶりに、この伝統ある熊本農業高校に勤務できますことを大変光栄に思っています。前回は主幹教諭として二年間の勤務でしたが、南園会の様々な会合や活動にも参加させていただき、同窓の皆様への母校への強

びに、本県農業教育の充実と真価を高めるべく尽力して参りました。特に、四十七年ぶりに本県で開催した「第七十三回日本学校農業クラブ全国大会令和五年度熊本県大会」では、多方面の皆様のご支援とご協力で開催でき、その成果が今後の本県農業教育の根幹になると信じています。

私事ながら四月から、県外の大学で教職を目指す学生指導をセカンドキャリアとしてスタートしました。しばらく県外から、熊本農業高校並びに熊本県の農業教育を見つめ、令和時

この一年間勤務する中で、改めて熊農の勢いを感じた次第です。入試志願者状況や正門横の多数の看板がその証です。今後も、地域に愛される熊農として、創立百三十周年に向け、校訓「敬天愛人」のもと、農業教育がしっかりと展開されていくことでしよう。私も熊農に続けるように頑張つてまいります。

結びに、熊本県立熊本農業高等学校と南園会のますますの御発展を祈念申し上げ、退任の御挨拶と致します。

いい思いや愛情を感じることができました。そのような母校愛から熊農の魅力を再認識いたしました。令和十年度の創立百三十周年に向け、また、熊農の益々の発展のため精一杯職務に取り組んでまいりますのでよろしくお願いいたします。

結びに、南園会の益々ご発展と会員の皆様方のご健勝を祈念しご挨拶いたします。

昭和四十二年卒業 農業土木科クラス会



二〇二五年四月十九日(土)、熊本市役所南側の「キッチン・YOU」にて久しぶりのクラス会を開催しました。年賀状をやり取りしている同級生から「久しぶりに四、五人で呑み会をしたいね」と話があつて、最終的には十一人が集まり久しぶりの仲間たちと話が弾みました。やはり同級生はいいですね!! 遠慮会釈なくいろいろな話ができ楽しい時間が過ぎて行きました。三年間、男子ばかりのクラスでしたが和やかに会話は進んで、誰からもなく来年以降も継続してクラス会を開催してくれとのことでした。

来年も一人もかけることなく参加お待ちしております。



令和六年十月二十三日、ザ・ニューホテルに於いてクラス会を開催しました。元々は古希祝いのクラス会を予定していましたがコロナ禍で直前にキャンセルとなり今回開催しました。二十六名が参加し、記念撮影後に祝賀、各人からの近況報告や思い出話で賑わい久々の再会に大満足の盛り上がりでした。中には家族経営で農産物販売額が一億円を達成した者もいて一同良い刺激を受けました。当時クラス五十三名のうち物故者五名、欠席者の大半が体調不良ということでした。次回開催には皆元気で会おうと言葉を掛け合いました。

母校創立百二十周年にあわせて開催した第三回学年同窓会以来、S四十六年園芸科B卒のクラス会が去る四月十七日(木)ホテルオークス熊本城前で開催されました。初任で三年間担任された尾方徳一先生の八十歳のお祝いを兼ねて二十一名の参加で旧交を深めることが出来ました。高齢ということでは開催でしたが時間が経つのも忘れいつしか気持ちの街へと... 次回は二年後の再会を約束して散会となりました。

昭和四十六年卒業 園芸科Bクラス会



故郷産山村にて副村長を拜命

産山村 副村長 井 雄一郎
(昭和五十七年(七十九回)農業土木科卒)



五十七年に農業土木科を卒業後、九州農政局に就職、農山村地域を中心とした農村振興や土地改良事業等に従事し、四十二年間の公務員生活を終え、今年二月に故郷産山村にて副村長を拜命しました。

農林水産省では、佐賀県内の事業所を初めに、九州、沖縄、関東、中国地域の各地で農村振興政策やかんがい排水事業等に従事するとともに、農水本省では、予算編成や政策立案等に携わり、また、最後の勤務地を故郷産山

村で二年間務めさせて頂き、農山村地域が抱える多様な課題に直接携わる機会を得たことは、私自身がこれまで培ってきた経験等を活かす充実した勤務となりました。

農山村地域の基幹産業である農畜産業は、少子高齢化による担い手不足、農産物の価格低迷、物価高騰に伴う農業経営の増大など多くの課題を抱えつつも、守り続けるべき重要な産業であると強い思いをもつて、本村の発展と村民生活の安定、向上の

ため周辺地域や関係機関等と連携して各種施策等に取組みたいと考えています。

南園会の皆様におかれましては、各地域・各職場等で活躍のことと申します。機会がありましたら、本村へのご指導・ご鞭撻を頂ければ幸いです。

最後に母校並びに南園会の益々のご隆盛と会員各位のご健勝を祈念申し上げます。

◆◆地域のリーダー◆◆

植嶋 園子さん

平成四年(八十九回) 農業経済科卒

令和三年一月

株式会社「アグロ」代表取締役就任
■訪問看護ステーションはじめ 管理者

私は訪問看護ステーションを立ち上げました。訪問看護という仕事はなじみがないかもしれませんが、自宅で過ごしたいという気持ちや、病気の療養をしながら、病気が癒え、生きていく上で避けられないこれらの時こそ、その人らしく人生を生きてもらいたいという思いから立ち上げました。これからは、病院・施設以外にも自宅で療養できるという選択が当たり前になる社会になればと願っています。訪問看護の現場で働くなかで、最近その醍醐味を深く感じるようになりました。患者様の生活に寄り添い、その人らしい生活を送れるよう支援することができると、訪問看護ならではの魅力です。誰かの役に立っていると実感できる瞬間にやりがいを感じています。

現在、私は訪問看護師と経営者二つの顔を持っています。現場でのケアを通じて患者さまに寄り添いながら、経営者として

の視点で組織を動かす日々を過ごしています。常に疑問を持ち、興味を持つことで、現状にとどまらず、よりよい選択を模索しています。その姿勢が自分自身の成長につながる原動力となっています。

熊鷹では、学校生活を通じて、柔軟な発想力、思考力を養う多くのチャンスがあります。考え、勉強することで様々な道が選べます。選んだ道には自己肯定感や自己責任感が生まれるでしょう。なりたいたい自分になることは決して簡単ではありませんが、その過程はとても楽しいものです。力が湧いてきます。

どんどん学んでください。道をひらくために。そして自分のために。応援しています。

◆◆南園の若きリーダー◆◆

立石 翼さん

平成十四年(九十九回) 食品工業科卒

阿蘇乙姫農園 代表

■南園会青年部会長

■熊本県阿蘇市在住



高校入学当時、私は料理や製菓が好きで食品科を選び、三年間熊鷹での学校生活と寮生活をさせていただきました。貴重な経験になったのは寮生活での先輩、後輩のいる生活での縦社会の学びでした。卒業後は辻調理師専門学校へ進学。その後、熊本市内のホテルに調理師として就職し、二十九歳まで、料理や接客業に努めていました。

結婚や、三十歳の節目を期に実家の農業を継ぐ事を決意し、

阿蘇での農業生活をスタートしました。主に主食用米やWCS、冬場の大麦の生産に加えて、焼酎用の甘藷栽培等もスタートしました。就農して十年以上になりましたが、一年として同じ様な年柄はなく、常に来年こそは！と思う日々が続いています。

ここ近年の、生産資材や肥料、農薬を始め、燃油価格の高騰等、情勢の変化に対応するため、数年前からJA阿蘇稲作部会長も経験させて頂いており、少して

も農業を取り巻く情勢をよりよくしたいと日々努力しています。昨年来米価の価格が上昇していますが、我々稲作農家からすれば、「やつと世の中が日本の米の価値を分かってくれたのか。」と思っているところです。

【其手足を低き地に働かし 心を高き天に置けよ】

在学中に見て聞いたこの言葉が仕事の中にものすごく心に響きます。

この言葉の後押しもあり今年から、南園会青年部の活動に参加しています。

先輩、同級生、後輩。卒業後久しぶりに再会しても在学当時に戻った気分です。貴重な仲間と、微力ながら「熊鷹の為に何か出来れば」と、活動を行ければと思います。

南園土木会は、熊本農業高校農業土木科卒業生によって構成され(昭和四十二年発足)、会員相互の親睦を図り教養を高め、産業及び文化向上の発展に尽くすことを目的として活動しています。

私は昭和四十八年三月卒業で、熊鷹の出水校舎を巣立った最後の卒業生になります。昨年十月の南園土木会総会にて、第三十期の会長に推挙され任を受けることになりました。

最後に、南園土木会の活動として、は「二年に一回の総会及び懇親会を開催しております。が、新型コロナの影響もあり参加者も減少傾向にありますので、多くの会員の皆様の参加を期待しております。毎年六月頃開催する親睦ゴルフ大会には、七十名程度の参加者があり和気あいあいの中で珍プレー等もあり大いに盛り上がりつつあるところです。ゴルフを通じて、久しぶりの同級生との出会いや、語り、先輩、後輩との絶好の交流機会として、更に親睦を深めているところです。

最後になりますが、南園会会員皆様の今後の益々のご健勝とご活躍を、心より祈念申し上げ会長就任の挨拶と致します。

南園土木会

第三十期会長就任挨拶

南園土木会 会長 坂田 達哉

【昭和四十八年七十回 農業土木科卒】



平成二十五年(二〇〇回) 畜産科卒

藤木 亨大さん

平成二十五年に畜産科を卒業後、農業大学校へ進学しました。卒業後は、人吉の大規模農場で研修を受け、約四千頭の牛を管理する中で、特に人工授精と牛の分娩などを学びました。二十歳で就農した際、千頭ほどの経営をする中で、半年で熊本地震により牛舎が倒壊し、まともに牛の管理が出来ない中、試行錯誤の日々が続きしました。その際に同業者や地域の方に助けられた事を鮮明に思い出します。

現在、畜産の環境は厳しく、我が家では、代々粗飼料の生産と堆肥作りにより一歩力を入れてきました。今では、年間約二百三十町の牧草やデントコーンの生産が出来るようになり、次の世代へ受け継いでいきます。

最後に、就農十年が経ち、若いうちから様々な経験や沢山の先輩方にお世話になりながら、畜産経営が出来ています。お世話になった方々へ一日でも早く恩返しが出来るように弟と力を合わせて、これからも地域に根ざした畜産経営を行っていきます。

令和七年版
南園議員連絡会総会

河津 修司

■南園議員連絡会 会長

■熊本県議会議員



先日四月二十六日(土)南園議員連絡会の総会が開催されました。本会は、熊本農業高校卒業の議員同志の政治・政策立案に役立つ情報交換や親睦を目的として活動しています。

現在は県下の県市町村議員三十五名に特別顧問の参議院議員藤本真也さん、顧問として末松宇城市長・吉本菊陽町長を加え活動を行っています。

「其の手足を低き地に働かし心を高き天に置けよ」の考えをもとに「南園魂」で地域の課題に向き合っています。

総会では近況報告や活発な意見交換が行われました。今後、更なる連携を深めるとともに、益々の会員の活躍が期待されます。

おめでとうございます。

宇城市長 当選

末松 直洋氏
(昭和五十六年
(七十八回) 果樹科卒)

農業科…中尾 匠吾/林田 周平
園芸科…志木 淳誠/下津 鈴
畜産科…井 真莉亜/増水 徹平
生活科…福本 菜生/水田 希望
農業経済科…滝川 莉那/米村 幸士郎
食品工業科…田中 真央/福島 鈴菜
農産土木科…植田 英真/木村 樹

（クラス代表者十四名）

令和七年二月二十八日（金）、本校体育館にて同窓会入会式が開かれました。来賓に学校長と副校長出席のもと、本会からは小山会長をはじめ七名の役員と同窓職員十四名に見守られ、卒業生二百六十七名が新たに南園会に入会しました。

同窓会入会式

◆◆◆南園会事務職教職員紹介◆◆◆

役職(組織)	担当者(所属)
顧問	二子石(A)
事務局長	西村(A)
創立130周年記念事業統括	永野(A)
事務局次長	伊藤(E)・江島(E)
社団法人	高橋(H)・多田(H)・片山(E)
青年部	早野(Z)・田中(A)・川上(Z)
農産食品会	多田(H)・片山(E)・市本(Z)
教職員南園会	深田(F)
広報	田中(A)・川上(Z)
入会式	江島(E)・早野(Z)・片山(E)
同窓職員会計	市本(Z)・後藤(K)
事務全般	早野(Z)・市本(Z)
	岡井(事務局)

令和七年六月三十日をもって退職することになりました。平成十七年六月より二十年間大変お世話になりました。南園会員の皆様には、いつも温かくも見守り支えていただきました。楽しく仕事ができたと感謝申し上げます。南園会の歴史と伝統の重さに触れることができ貴重な体験をさせていただきました。これからも南園会の輪が広がり、ますます発展を祈念いたしております。

退職のご挨拶

山崎 尚美

新任のご挨拶

岡井 麻紀

このたび南園会事務局でお世話になります岡井麻紀です。

まだ分からないことも多く、ご迷惑をおかけすることがあるかもしれませんが、皆さまのお力をお借りしながら成長し、少しでもお役に立てるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願いたします。

4月	24日 熊本市南園会役員 2日 美里町雇用南園会総会・懇親会
5月	11日 富合町南園会総会・懇親会 29日 平佐町南園会総会・懇親会
6月	1日 玉東町南園会総会・懇親会 6日 山鹿市南園会総会・懇親会 13日 御船町南園会総会 20日 教職員南園会総会・懇親会 20日 天明南園会総会・懇親会 20日 松橋町南園会総会・懇親会
7月	その他の活動：かかしコンテスト、熊本城マラソン応援講習会
8月	8日 熊本市南園会総会・懇親会 11日 国交省南園会総会・懇親会 その他の活動：競艇ゴルフ
9月	6日 宇土市南園会総会・懇親会 8日 河内町南園会総会・懇親会 20日 川尻南園会総会・懇親会 その他の活動：宇土市南園会ゴルフコンペ
10月	5日 福岡南園会総会・懇親会 7日 熊本市役所南園会・懇親会 11日 山都町南園会・懇親会 22日 美里町中央南園会・懇親会 その他の活動：ボウリング大会
2月	
3月	22日 託麻東南園会・懇親会

令和六年度事業報告

※主な事業のみ掲載しています。



部活動紹介

硬式野球部



はじめに、日頃より多くのOB会の皆様からのご激励や

ご支援をいただいておりますこと関係者一同、心より感謝申し上げます。

硬式野球部は今年で創部七十八年を迎え、現在は三年生二〇名、二年生八名、一年生十一名、マネージャー二名の計四十一名で日々の活動に励んでいます。昨年は公式戦で良い成績をあげることができました。去年は公式戦で、昨年同様、その悔しさを糧に部員達は七月の夏の大会に向けて一丸となつて一生懸命に練習に取り組んでおります。きつと今夏の大会では熊農球児が躍動する姿をご覧いただけるものと確信しております。

「明るく、直向きに元氣よく！」の熊農生らしさを全面に押し出し、甲子園に旋風を巻き起こすべく邁進します。

皆様からの温かいご声援をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

第39回 南園ゴルフ大会のご案内

日時 令和7年9月19日(金)

場所 グランドチャンピオンゴルフ

阿蘇郡西原村河原 3838-4

お問い合わせ

南園会事務局 TEL/FAX 096-357-8824



自然体験教室

主催：一般社団法人南園

参加者募集

8月3日(日)

10:00~12:00

集合…8:30までに熊農

夏休みの自由研究の参考に小学校の親子(2人1組で先着12組限定)を対象に森林インストラクターによる阿蘇外輪山での自然体験教室を開催します。

参加料無料 ※雨天時室内開催

参加希望の方は、事前申込みをお願いします。詳細は南園会事務局まで。



令和六年度 南園会賞授与



- 相撲部
- 馬術部
- ボクシング部
- 柔道部
- 農業クラブ
- 畜産科
- 養豚プロジェクト
- 第24回全国高校生フラワーアレンジメントコンテスト(園芸果樹科)
- 新体操

南園会と南園会文化体育振興基金より、全国大会及び九州大会へ出場する部活動や団体へ南園会賞として激励金二十七万八千円を授与しました。

令和六年度 3月 進路状況

令和7年度4月現在

進 学	国公立大	7	就 職	県内	62
	私大	41		県外	19
	短大	11		官公庁	28
	県立農大	13		自衛隊	9
	医療関係学校	7		即自営	3
	関連専修学校	63		計	121
	計	142		その他	5
					計